

情報公開文書

課題名 : 脳卒中を含む循環器病対策の評価指標に基づく急性期医療体制の構築に関する研究
研究期間: 倫理委員会承認日～2021年3月31日

1. 研究の対象

2013年1月1日～2020年3月31日の期間に、脳梗塞、くも膜下出血、一過性脳虚血発作、もやもや病、未破裂脳動脈瘤が原因で当院に退院された患者さん

2. 研究目的・方法

脳卒中、心筋梗塞、心不全などの循環器病は、日本人の死因の25.5%、国民医療費の約20%を占め、その克服は、健康長寿社会を達成する上で大きな課題となっています。しかし、日本において脳卒中、循環器疾患を対象とした包括的な取り組みは未だ整備されておらず、脳卒中または循環器病を対象とした地域拠点病院の認証もまだ開始されていないのが現状です。

今後、日本国内の脳卒中における大規模データベースを活用し、脳卒中を含む循環器病の医療の質を包括的に評価する指標を策定し、診療における具体的な目標設定を行うことで、継続的に脳卒中对策の進捗状況をモニターすることが可能となります。

また、脳卒中を含む循環器病は、的確に救急活動が行われ、適切な施設に迅速に搬送され、根拠に基づいた治療を受けるという一連の流れが重要です。現在、都道府県レベルでより広域の連携を含めた救急体制の見直しが進められていますが、地域特性に応じた整備には、全国的な広い視点での地域の救急搬送の実態を調査し、さらに急性期医療機関での治療の結果まで含めて解析を行うことが必要です。

そこで、総務省消防庁から全国救急搬送データ(活動事案毎データ)の提供を依頼し、先行研究である脳卒中の医療体制の整備のための研究(J-ASPECT)とのデータ連携を行い、日本における脳卒中、急性循環器疾患の救急搬送の実態を検証し、予後の改善に向けた原因がどこに存在するかを継続的に検討し、今後の診療に役立てたいと考えております。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: 年齢、性別などの基本情報、入院中に治療で使われた薬剤、採血等の検査、CT等の画像検査の状況、入院中の経過、退院先、退院時の状況等

4. 外部への試料・情報の提供

今回の研究で得られたデータについては、診療情報に関するデータを扱う団体((株)健康保険医療情報総合研究所(PRRISM))へ対象者のレセプト情報等のデータ情報を郵送にて送付し、詳しい解析を行う予定です。研究対象となる患者さんのカルテの情報を、PRRISMへ郵送する際には、対象となる患者さんのお名前の代わりに研究用の番号を付けて取り扱います。研究対象者と研究用の番号を結びつける対応表は、研究参加施設のインターネットに接続できないパソコンに保存します。よって、研究対象者を特定できる情報が外部に送られることはありません。

5. 研究組織

研究代表者: 九州大学大学院医学研究院脳神経外科学分野・教授・飯原 弘二

共同研究機関: 先行研究であるJ-ASPECT studyへの参加施設

ホームページ: <https://j-aspect.jp/>

業務委託先: (株)健康保険医療情報総合研究所(PRRISM)

6. 個人情報の取扱い

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は、当院の研究責任者及び情報の提供先である九州大学大学院が責任をもって適切に管理いたします。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

浜松医療センター 脳神経外科部長 中山禎司(当院研究責任者)
住所: 静岡県浜松市中区富塚町 328 Tel: 053-453-7111